古田幹雄先生追悼研究集会

11月8日の幾何

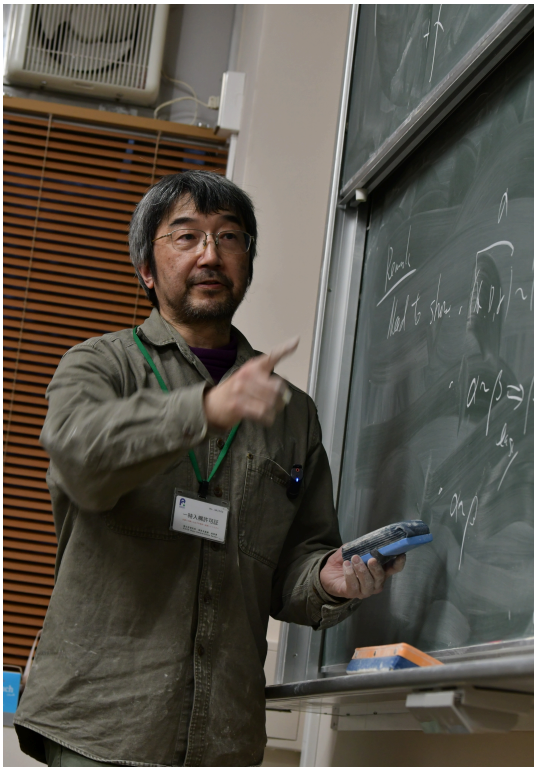
$$2 \leq b_2(X) - \frac{10}{8}|\sigma(X)|$$

日時　2026年11月8日 (日)

会場　東京大学大学院数理科学研究科
NISSAY Lecture Hall

本年6月28日にご逝去された古田幹雄先生のご研究を振り返りつつ，その後を継いで進むべき道を探求する研究集会を開催します．ゲージ理論，四次元多様体，無限次元と有限次元，場の理論，それらの歴史的背景をこめた理解に関心のある若手の方々，特に学生の方々の参加を歓迎します．

なお，11月6日と11月7日には研究集会「4次元トポロジー」が東大数理で開催されます．



撮影：河野裕昭

09:30–10:30　谷口 正樹 (京都大学大学院理学研究科)
Yang-Millsゲージ理論と
その4次元トポロジーへの応用

11:00–12:00　今野 北斗 (東京大学大学院数理科学研究科)
Seiberg-Witten理論と
その4次元トポロジーへの応用

13:30–14:30　藤田 玄 (日本女子大学理学部)
Dirac作用素の指数の局所化

15:00–16:00　松尾 信一郎 (東京科学大学情報理工学院)
格子ゲージ理論とDirac作用素の離散化

16:30–17:30　亀谷 幸生 (慶應義塾大学理工学部)
有限次元近似、指数定理、
10/8-不等式とその背景

世話人　中村信裕・今野北斗・松尾信一郎